

旭市コミュニティバスの運行内容が一部変わります

海上地区・干潟地区

現在旭市では、公共施設への利便性の向上と高齢者等の交通手段を確保するため、コミュニティバスを運行しています。コミュニティバスを運行していません。コミュニティバスを運行開始以来、多くの方々が利用し、利用者は、平成20年度も延べ10万人を超える見込みとなっています。今後も市民の足として、子どもからお年寄りまで気軽に、さらに便利に利用できるように検討をした結果、4月1日(水)から海上地区ルートおよび干潟地区試行運行ルートの運行内容を次のように変更します。

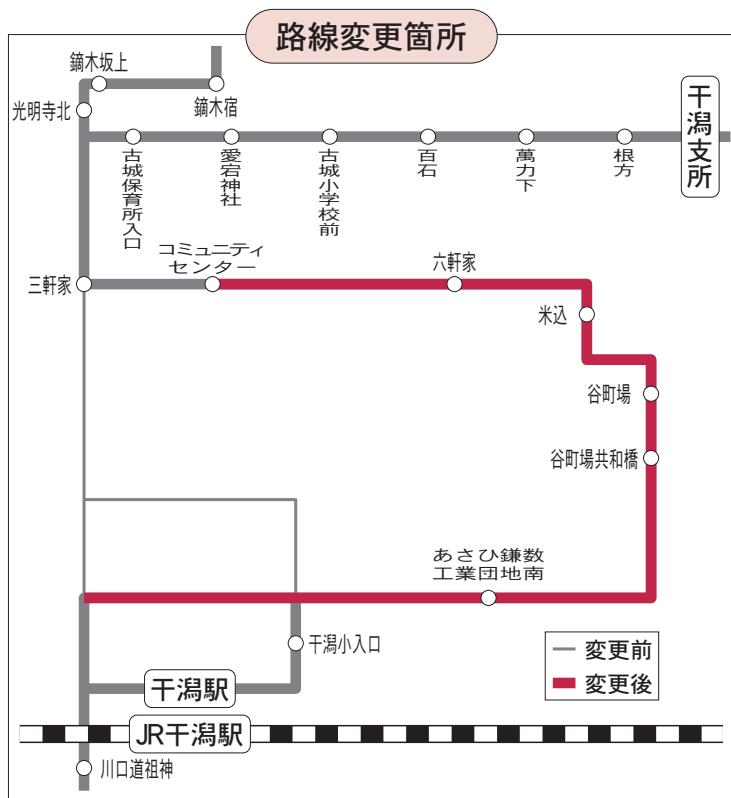
〈変更内容〉

①海上地区ルート右回り第4便
(中央病院発午後5時50分)
の運行時刻を午後5時10分に変更

②干潟地区試行運行ルートの「コミュニティセンター」干潟駅間のルート変更と停留所を増設(ルート変更により運行時刻を変更します。また「第二やすらぎ園前」の停留所は廃止となります)

〈運行日〉

年々年始(12月28日)〜1月3日



日)を除く毎日運行
 〈料金〉
 1 利用につき1000円
 ※乗車の前にあらかじめ1000円玉を用意してください。また、運賃は乗車の際にお支払いください。
 ※就学前児童および障害者(障害者手帳の提示が必要)は無料です。

運行時刻表(ルート別時刻表ルート図等)は、3月18日(水)の朝刊に折り込む予定です。また、市のホームページにも掲載します。

〈問い合わせ先〉
 企画課地域振興班
 ☎62-5382

3月14日(土) JR旭駅で

Suica デビュー

3月14日(土)からJR総武本線・成田線でSuica(スイカ)が使えるようになります。Suicaは一度購入すると1枚で繰り返すエコで便利なIC切符です。

これに伴い、旭駅は自動改札機になりますが、今お使いの通勤・通学定期券はそのまま利用できます。また、現在使用している定期券をSuicaに変更することもできます。

Suicaとは、東日本旅客鉄道(JR東日本)・埼玉新都市交通・仙台空港鉄道・ジェイアールバス関東・東京モノレール・東京臨海高速鉄道などで導入されている、乗車券や電子マネー等として利用できるICカードで、自動改札機の読み取り部分に軽く触れるだけで運賃を自動精算することができます。

新たにSuicaが利用できる区間

〈総武本線 銚子～松尾間〉

◆自動改札機になる駅

旭駅、銚子駅

※その他の駅については簡易Suica改札機が設置されます。

〈成田線 銚子～久住間〉

◆自動改札機になる駅

佐原駅、銚子駅

※その他の駅については簡易Suica改札機が設置されます。

〈問い合わせ先〉

JR東日本テレフォンセンター
 (☎050-2016-1600)